

# 東京医科大学病院 時間外外来トリアージ実施基準

当院では患者さんの安全確保および適切な医療提供を目的として、看護師が症状の問診・観察を行い、緊急度に応じて診察の優先順位を決定する「トリアージ」を実施しております。そのため、緊急度や重症度に応じて診察の順番が前後する場合や、待ち時間が長くなる場合がございます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 【トリアージの目的】

患者さんの緊急度・重症度を客観的に評価し、「適切な医療を適切なタイミングで提供する」こと。

## 【トリアージ対象時間と対象患者さん】

- 当院時間外外来へ来院した患者さん。
- 上記日時に予約のある患者さんはトリアージ対象となりません。

## 【トリアージの流れ】

1. 患者さん来院後 10 分以内にトリアージを開始し、5 分以内に緊急度判定を行います。
2. 診察待機中の患者さんの継続観察に努め、初回評価から一定時間毎に再トリアージを行います。

## 【トリアージ基準】

区分	定義	診察までの目標時間	再トリアージ時間
緊急	潜在的に生命や四肢の機能を失う恐れがあるため 医師による迅速な治療介入が必要な状態	15 分以内	15 分毎
準緊急	重篤化し救急処置が必要になる潜在的な可能性がある状態	30 分以内	30 分毎
低緊急	年齢に関連した症状、苦痛の悪化の可能性のある症状	60 分以内	60 分毎
非緊急	急性期の症状だが緊急性はないもの。 および慢性症状の一部である場合	1 時間～ 2 時間	120 分毎

日本臨床救急医学学会が提唱しているトリアージシステム(J T A S)に準拠

ER・プライマリ 2026年5月25日作成

東京医科大学病院 病院長  
（「院内トリアージ実施体制加算」の施設基準に基づく掲示）